令和６年（2024 年）２月７日

札幌市水道局総務部企画課

「令和６年度 札幌水道じっかんキャンペーン業務」企画競争に関する質問及び回答

標記の業務に係る質問について、下記のとおり回答いたします。

記

質　　問	回　　答
事業１で、既存ノベルティを使用することも可能とあるが、目標人数分の制作とは「追加発注」をするというお考えでしょうか。その場合、ノベルティ制作会社を紹介いただけるのでしょうか。また見積もり依頼を行うことは可能でしょうか。	新規ノベルティの企画内容によって、多くの市民の参加を促す提案になりえると考えているため、設定した目標人数分のノベルティについて、新規にご提案してください。 なお、業務開始後の早い時期にきき水を実施する場合など、新規に制作するノベルティの納品が間に合わない場合にのみ既存ノベルティで対応することを想定しております。
事業１で、きき水会場を提案するとなっていますが、開催の可否は決定後の協議の上で最終決定というお考えでしょうか。	お見込みのとおりです。
事業２で、イベントの開催となっていますが、さっぽろ水道フェアや水道記念館秋まつりとの違いは何でしょうか。	さっぽろ水道フェスタや水道記念館秋まつりは、札幌市水道記念館の管理運営業務受託者である（一財）さっぽろ水道サービス協会が企画・運営するイベントであり、事業２におけるイベントは本業務の受託業者が企画・運営する点が異なります。
事業２で、イベントの目標参加人数が 5000 人以上となっていますが、どのような状態「参加」とお考えでしょうか。 例えば、「来場者数」「アンケート数」「イベントの観覧数」などがあるかと思います。	オフラインイベントであれば「来場者数」、オンラインイベントであれば「アクセス数」など、イベントの開催形態によって適切な集計手法が異なると考えられます。そのため、イベント内容確定後、協議の上で決定することを想定しております。

質　　問	回　　答
事業３で、札幌市内だけではなく、市外の方も接触する可能性のある媒体は提案してもよろしいでしょうか。	差し支えありません。
現在使用されている「さっぽろ goodwatrer」というフレーズは継続使用しなくてもよいのでしょうか。	「さっぽろ Good Water!」のフレーズについては、継続使用を提案の条件としておりませんので、使用しなくても差し支えありません。